



▲岡山県の宇野港に常設された巨大チヌ

だったり。だから、その地域ごとにできる作品が全然違うんです」

## “おもろいもん”を作る

その完成作品のインパクトから、今では日本国内にとどまらず、世界各国からオファーを受ける。大小様々なイベントや、河川管理者・環境センターといった行政部門からの依頼も多い。

しかし、その活動の原点は至ってシンプルで“おもろいもん”を作ること。行く先々の現場の様子を見て、現地の人々と交流し、その中から自分たちが面白いと思ったイメージを形にする。

「世の中に対し強く、こうあるべきだなんて思っていない。見た人にまず楽しんでもらい、それぞれに何か感じ取ってもらえたらそれでいいんです」

## 淀川が好き

若さと情熱で10年前に淀川河川敷からふみだした小さな一歩が、今や世界に

羽ばたく大きな翼となった。しかし、今もなお淀川河川敷をベースに創作活動を展開する。

「色んな所を旅してきたけど、やっぱり淀川が好きなんです。川も人も町も」

結婚し、近く1児のパパとなる予定の松永さん。区内に構えた自宅に今日もどこからか『宝物』を持ち帰り、せっせせせと磨きをかける。

「近所の人は、あそこの旦那さん毎日何してはるんやろ? って思ってるはずですよ(笑)」

松永さん、また次の“おもろいもん”楽しみにしときますね。



▲淀川河川敷にも出現

## 淀川テクニク・プロフィール

柴田英昭(1976年岡山県生まれ)と松永和也(1977年熊本県生まれ)により2003年に結成されたアートユニット。



撮影:Yuragi Wakiya

大阪・淀川の河川敷を主な活動場所として、落ちていくごみや漂流物などを使い様々な作品を制作する。赴いた土地ならではのゴミや人々との交流を楽しみながら行う滞在制作も得意とし、最近では東日本大震災で甚大な津波被害を受けた宮城県仙台市若林区で地元の方々の協力のもと被災した防風林を使った作品を制作した。彼らの活動や作品は中学校の美術の教科書でも紹介されている。

.....

### ◎これまでの主な出展

- 平成15年「よどがわ河川敷フェスティバル」
- 平成21年「水都大阪2009」
- 「TWINISM(ドイツ)」
- 平成22年「瀬戸内国際芸術祭2010」

### ◎受賞歴

- 平成21年「咲くやこの花賞」

### 【ホームページ】

<http://yukari-art.jp/jp>

松永さんも大好き、ひろ～い淀川河川敷で楽しいひと時を過ごしませんか?

よどがわ河川敷フェスティバルは4面を!!

